

女子商生のみなさん。2学期も始まり、体育祭、女子商マルシェと大きな行事が続きます。もちろん中間考査や期末考査も実施されます。時間の有効利用をする術を身につけなければなりません。そして何より、3年生は就職試験が9月16日から開始されました。1・2年生の皆さんも3年生の先輩が冬服を着て登下校や学校の中にいる姿を見ることがあると思います。その先輩は、まさしくその日に自分の人生と女子商の誇りをかけて就職試験にこれから望む、あるいは試験を終えて帰校したのです。

今年度本校の進路状況

就職に関しては、7月1日の求人票受付開始以降、多くの企業様より求人をいただきました。福岡労働局から平成23年7月末現在で発表されました「平成24年3月新規学校卒業者の求人・求職・就職内定等状況について」によりますと、高等学校卒業者の求人数は6,269人(前年比4,7%減少)。これに対する求職者数は7,432人で前年同月に比べて3,4%増加しているという結果になっています。この結果、

求人倍率は0,84倍となり、前年同月に比べて0,08ポイント下回るという結果となっています。

女子商は、昨年度就職希望者121名に対する求人数は184件(延べ290名。有効求人倍率2,4倍。)いただき、全員内定を頂くことができました。今年度は、110名の就職希望者に対し124件の求人(延べ200名。有効求人倍率1,82倍。8月末現在)と福岡県全体の水準を大きく上回る求人状況となっています。これは、昨年度創立60周年を迎えた女子商の1万2千名を超える卒業生がそれぞれ就職した企業にて頑張っ勝ち得た信頼と、就職指導員を始め進路指導部の教員全員でおおよそ1500社を訪問して女子商のことを企業様にご理解いただけた賜物といえます。

そして、9月16日より各企業において就職試験が開始されます。この試験開始に合わせて女子商からは88名の生徒が学校長の推薦を受け、自らの夢・希望・女子商という看板を胸に試験に臨み、進路実現を果たすこととなります。

| | 就職希望者数 | 求人数 | 有効求人倍率 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 福岡県 (平成23年7月末) | 7,432名 | 6,269名 | 0,84倍 |
| 本校 (平成23年8月末) | 110名 | 200名 | 1,82倍 |
| 本校昨年度実績 | 121名 | 290名 | 2,4倍 |

「平成24年3月新規学校卒業者の求人・求職・就職内定等状況について」福岡労働局・および本校調査より

(写真は9月13日に行われた就職試験出陣式の模様です。)

(林校長による激励



→)

(女子商の美しい礼↓)

(生徒代表決意表明↓)



平成22年度の高校新卒者における就職者数（女子のみ）について、女子商と県内の商業高校および、近隣の高校の実績を比較した右の表を見てください。

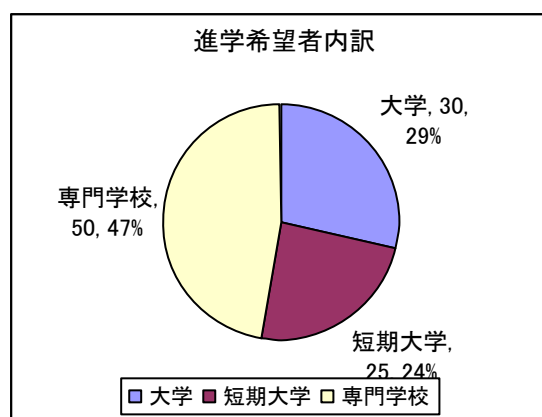
それぞれの学校に事情があるとは思いますが、女子のみで100名を超える就職内定者を輩出したのは女子商のみです。この結果は女子商独自の指導体系に則ったきめ細かい面接や作文などの指導、そして生徒自身の粘り強い努力のたまものといえます。前にも述べましたが、今年度もすでに88名が就職試験を受験することになっています。今後も継続して求人開拓と生徒への指導を重ね、希望する生徒全員が内定をいただけるように努力を続けていきます。

| | |
|------|------|
| 福女商 | 121名 |
| A商業 | 53名 |
| B商業 | 42名 |
| C商業 | 57名 |
| D商業 | 43名 |
| E女子高 | 39名 |
| F高校 | 33名 |
| G高校 | 32名 |

(参考：福岡労働局・ハローワーク「新規学校卒業生の採用手引き」)

進学の内情

今年度の進学希望者は四年制大学希望がおおよそ30名、短期大学希望者がおおよそ25名、専門学校希望者がおおよそ50名のおおよそ105名となっています。女子商は二年生から進学コースが設定され、商業科目普通科目に関わらず、質・量ともに他のクラスよりも豊富で高いレベルの授業が展開されています。四年制大学と看護学校への進学希望者は基本的に進学コースで学んでいます。もちろん進学コース以外のクラスからの四年制大学や看護学校への進学は可能ですが、それぞれ他の生徒以上の努力をしています。



四年制大学、短期大学、専門学校における生徒の系統別内訳については下の各グラフを参照していただきたいと思いますが、四年制大学については商学部をはじめとする商業系が最も多く、福岡大学や久留米大学、九州産業大学などの近隣の大学を目標としています。国立大学を目指してがんばっている生徒もいます。

短期大学は商業系の学部が少ないこともあり、その他の学部を希望している生徒が最も多くなっています。これらの多くは保育系の学部を希望しています。

専門学校への進学を希望している生徒は、本校で学んだ簿記や情報などの知識と技術をさらに高めたい、より高い資格や検定を取得したいと考え、ビジネス系の専門学校への進学を希望している生徒が多くなっています。さらに、看護師や作業療法士への道を志し、進学を希望している生徒もいます。

これらの進路決定はいずれも多くの生徒が推薦制度を利用して受験します。さらには各学校から指定校推薦枠を数多くいただき進学を決めるなど、各学校との信頼関係が年々強くなっています。

就職希望者は9月16日から採用試験が始まりますが、進学については専門学校の推薦入試が10月1日から、短期大学と四年制大学の推薦入試が11月1日より始まります。受験生たちは、来る入学試験に向けて朝や放課後の課外授業を受講したり、個別に先生方の指導を仰いだりして来たるべき入試当日に備えています。

